

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 714 事業名 子ども会育成事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	5	人権尊重社会の実現
施策	1	人権が尊重される社会づくり
取組	2	人権教育・啓発の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		教育費
	項		社会教育費
	目		人権教育費
	大事業		人権教育事業
事項		子ども会育成事業	

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	S 4 2 年	～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	青少年課	有本 光博(435-1235)
関連課	子育て支援課	

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
			○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
	他人を思いやる心や人権を大切にすることを育み、目標に向かって主体的に行動していく力、いわゆる「生きる力」の育成を図るため実施されている子ども会活動を支援し、青少年の健全育成を図ることを目的とした事業。	原則として1小学校区内に居住する20人以上の児童・生徒を会員として組織され、年間50日以上次の活動を行い、交付金を各地域子ども会に交付する。 ○創作活動・スポーツレクリエーション活動・人権活動・情報活動など自主性及び創造性を育む学習活動。 ○野外・ボランティア・職場体験学の活動。 ○地域住民や子ども相互の交流活動。 ○リーダー養成のための活動。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動等を行った。	学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動等を行った。	学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動等を行った。	学習活動、体験活動、交流活動、指導者養成活動等を行った。	

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	52,005	54,662	52,500	51,303	52,489	51,387	53,739	51,021	55,312	
伸び率 (%)	-	-	1.0%		0.0%		2.4%		2.9%	
人件費	常勤職員	45,559	45,559	45,559	45,559	45,559	45,559	94,561	94,561	
	非常勤職員	5,465	5,465	5,465	5,465	5,465	5,465	15,547	15,547	
	小計	51,024	51,024	51,024	51,024	51,024	51,024	110,108	110,108	
国庫支出金										
県支出金	18,851	17,709	18,101	17,921	18,051	17,868	18,051	17,115	18,051	
市債										
その他										
一般財源(税等)	33,154	36,953	34,399	33,382	34,438	33,519	34,438	33,906	37,261	
所要人数	常勤職員	5.95	5.95	5.95	5.95	5.95	5.95	12.75	12.75	
	非常勤職員	2.66	2.66	2.66	2.66	2.66	2.66	7.61	7.61	
主な予算内訳	地域子ども会活動支援交付金36,000千円、非常勤報酬13,536千円 等									

3 目標及び実績

指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	年度目標値	実績値	達成率	全体目標達成度					
活動指標	交付金交付団体数				13	13	13	13	
					13	13	13	13	
	単位	全体目標値	全体目標達成度	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標	リーダー育成人数				20	20	20	20	
					20	20	20	23	
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%	115.0%	
					13	13	13	13	
	子ども会が開催する行事回数				13	13	13	13	
	単位	回	全体目標値	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	子ども会は、地域の子どもの学力や進路の問題など、教育的課題に取り組むとともに、他人を思いやる心や人権を大切にすることを育み、目標に向かって主体的に行動していく力を育むことを目的として、地域が一体となって子どもたちの健全育成に取り組む有意義な活動であると考えており、事業内容を十分精査しながら支援を継続していきたい。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	